

# CWA NEWS



## 会長あいさつ



千葉ウィスコンシン協会  
会長 茂木 友三郎

令和7年最初のCWA NEWSの発刊に当たりご挨拶申し上げます。

日頃より千葉ウィスコンシン協会の交流事業等に格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成2年に千葉県とウィスコンシン州が姉妹県州の提携をし、その後、当協会が千葉県側の交流窓口となつてから今年で21年目を迎えます。

この間、県が築いた友好関係を更に発展させるべく、幅広い分野で民間レベルの活動を展開してきたことで、地域に根ざした交流の輪が着実に広がり深まってきております。

また、昨年6月には当協会設立20周年を記念した交流会を開催し、多くの皆様にご参加いただき、今後のさらなる交流の発展に向けた意義深い機会となりました。

加えて10月には、ウィスコンシン州への派遣事業を5年ぶりに再開し、文化・芸術グループ10名の千葉県友好使節団がウィスコンシン州内の高校や企業、施設等を訪問し、多くの人々と交流を深めました。

今回派遣された団員の多くは高校生ですが、現地の多くの方々から惜しみのないサポートをしていただき、若い団員にとってかけがえのない貴重な体験をしてきたと伺っています。

今年は、ウィスコンシン州友好使節団受入れの年です。これまでの交流実績を活かして、より実りのある交流に向けて取り組むとともに、ウィスコンシン州の皆様が千葉県の良さや県民の素晴らしさをご理解いただけるよう、交流の輪を一層広げ、友好を深めていきたいと思っております。

結びに、当協会の交流事業等につきまして、今後とも当協会の役員、会員をはじめとする皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

## 日食文化交流会 2024 !!～ロースターキーと房総太巻き祭りすし～

早朝から晴れ渡った2024年11月30日(土)、千葉市生涯学習センターで食文化交流会が開催され、ALTをはじめ25名が参加しました。

準備に当たるCWA運営委員は9時に集合し、ターキーをオープンに入れたり、すし飯を分けたり、テーブルに食材や調味料を配置し準備を進めます。10時過ぎには参加者も集まり、各テーブルでは調理が始まりました。何度もこのイベントに参加されている方は調理器具の扱いにも手慣れた様子で、初めての方も周りの様子を見ながら徐々に溶け込んでいきました。

食文化交流会の主役のメニューはターキーですが、ターキー用のソースも2種(クランベリー、グレイビー)あり、マッシュポテトも欠かせません。デザートのスィートポテト、アップルサイダーのほか、サラダやスープも作ります。また、定番となった房総太巻き祭りすしでは、誰もがバラや椿の花、パンダなど4種類の房総太巻き祭りすしを見事に巻き上げました。これは例年同様、千葉伝統郷土料理研究会の峯岸さんと運営委員でもある三橋さんの行き届いた指導のおかげです。



参加者全員で協力しながら調理しました!!



料理も美味しく楽しい語らいのひと時を過ごせました!!

予定したメニューが次々に出来上がり、後はターキーの焼き上がりを待つばかり。お腹も大分空いてきた12時半過ぎにやっとターキーが出来上がりました。熱々のターキーが切り分けられ、皆で作った料理とともにテーブルに並べられると、待ちかねたように「いただきます!」の声。皆で囲むテーブルでは笑顔がはじけました。

お腹も一杯になった頃を見計らって参加者全員による自己紹介が始まり、小学生を含めそれぞれの近況報告に会場は大いに盛り上がりました。運営委員の中には体調が万全ではないにも拘らず、主治医に大事な会議が

あると言って駆けつけてくれた方もいて、このイベントの意義を改めて感じさせてくれました。

その後参加者全員で記念撮影を行い、後片付けも全員で行いました。もちろん食べきれなかった料理はパックに入れてお土産にしました。

15時に散会しましたが、来年の食文化交流会での再会を約す参加者も多く、主催者にとって何よりの励みとなっています。



※この動画はCWA ホームページ (<https://chiba-wisconsin.net/>) で公開中

## ウィスコンシン州への千葉県友好使節団派遣報告

令和6年10月26日(土)から11月3日(日)の9日間にわたり、ウィスコンシン州へ千葉県友好使節団を派遣しました。今回の派遣は、コロナ禍のため5年振りの派遣となりました。メンバーは、篠笛奏者の片野聡さんと佐原高等学校郷土芸能部の6人の生徒さんたちです。6人は全員海外が初めてということで、引率する私自身も緊張しました。

都合5回の公演があり「佐原囃子」を披露しました。演奏メンバーはやる気に満ち溢れ、各会場で熱のこもった演奏を行い、好評を博しました。

訪問先の方々は大変温かく私たちを迎え入れてくれました。特に、Madison East High School や Stoughton High School では、演奏だけでなく生徒さんたちと親密な交流をすることができたことはとても深く印象に残っています。また、CapitolのRotundaでの公演は、会場が素晴らしいうえに、ウィスコンシン州副知事のサラ・ロドリゲス氏からご挨拶をいただき大変光栄でした。

そのほか、Blackhawk Church、Madison Country Day School (MCDS)、Epic、Monona Terrace Community and Convention Center、State Street、Kikkoman Foods、Yerkes Observatory、Hoard's Dairymanなどのウィスコンシンらしい施設を訪問することができました。特にMCDSの日本語クラスの子供たちとの交流は、「日本語」という新しいテーマを軸にした企画であり、双方にとって大変学びの多いものでした。

今回の派遣は、CWA設立20周年の年に当たることから、WCIのシャロン委員長から樹齢20年の木材を使った記念のプレートをいただきました。



ウィスコンシン州副知事 Sara Rodriguez 氏と



Madison Country Day School の生徒と交流



Yerkes 天文台



キッコマン・フーズ社の玄関で

現地ではホストファミリーやたくさんのボランティアの方々から惜しみないサポートをいただきました。また、派遣に向けて、香取市国際交流協会(香取市役所)、佐原高校の先生方にひとかたならぬご協力をいただいたことに改めて感謝を申し上げます。

(CWA 派遣受入事業部会長・団長 笹生健司)

※この動画は CWA ホームページ (<https://chiba-wisconsin.net/>) で公開中

また、アメリカ大統領選直前だったこともあり、水曜日には、ハリス候補がマディソンに、トランプ候補がグリーンベイに来たことも付け加えておきたいと思います。

5年ぶりの派遣が無事終了してほっとしています。そして今回の派遣が感受性豊かな若い団員たちの心に残る派遣となったことを願っています。



CWA 設立 20 周年記念プレート

## ▶文化・芸術グループの交流活動

今回の友好使節団は、篠笛奏者の片野さん、佐原高等学校郷土芸能部の皆さん、千葉ウiskonシン協会の3名を含む合計10名で編成されました。

10月27日にはWisconsin Youth Symphony and Orchestraで音合わせを行い、アメリカ到着後初めて全員での演奏を行いました。その後、ホストファミリーの皆さんにも演奏を披露しました。

10月28日にはMadison East High Schoolで、生徒・教師約40名を前に演奏を行いました。午後は、Madison Country Day Schoolの日本語クラスを訪問し、生徒たちとゲームなどを通じて親睦を深めました。

10月29日にはStoughton High Schoolで生徒・教師約30名の前で公演を行い、演奏を聞いてくださったノルウェー・ダンサーズの皆さんと、お互いの音楽やダンスを通じた交流を楽しみました。その後、屋外でランチをともにし、学生同士で会話が弾みました。午後は、ウiskonシン州に本社を置く医療用ソフトウェア企業である「EPIC」を見学し、地元企業の先進的取り組みを学びました。

10月30日にはウiskonシン州議事堂で演奏を行い、サラ・ロドリゲス副知事やクリスティン・スニッキー州議会議員をはじめ、多くの方々にお聴きいただきました。荘厳な議事堂の建物内に佐原囃子の音色が響き渡り、大きな感動を共有しました。

10月31日にはキッカーマン・フーズ社を訪問し、ウiskonシン州での醤油製造の歴史や製造工程を学びました。その後、Yerkes天文台を訪問し、天文学の歴史に触れることができました。

11月1日にはHoard's Dairyman牧場を訪問し、乳牛の育成や搾乳工程などについて学び、午後にはOakwood Villageで公演を行いました。

今回の活動を通じて、多くの出会いと学びを得ることができました。

(笹生健司、青木靖子、佐藤有華)

### <団員>

片野聡（篠笛奏者）  
小川美風、稲田尚央、上野未来、香取竜乃介、  
菅谷晏寿、八木武流（佐原高等学校郷土芸能部）  
笹生健司、青木靖子、佐藤有華  
(千葉ウiskonシン協会)

### <行程>

- |       |   |
|-------|---|
| 10/27 | Wisconsin Youth Symphony and Orchestraで公演 |
| 10/28 | Madison East High Schoolで公演               |
| 10/29 | Stoughton High Schoolで公演                  |
| 10/30 | Wisconsin State Capitolで公演                |
| 11/1  | Oakwood Villageで公演                        |



Madison East High Schoolで公演



Stoughton High Schoolで公演



Stoughton High Schoolの生徒とのランチ交流



ウiskonシン州議事堂で公演



Oakwood Villageで公演



文化・芸術グループ

## 片野 聡

私にとって2005年以来、19年ぶり2度目となる Wisconsin 派遣。前回の派遣がきっかけで笛の演奏家としての道を歩み始めた私にとって、今回の Wisconsin 派遣は念願の再訪でした。当初は今の自分の演奏で、ご恩返しの旅にしたいと思っていたものの、同行の佐原高等学校・郷土芸能部の6名と稽古を重ねるにつれ、19年前に自分が経験した感動を、今度は若い子達に味わってもらうための手助けをするのが今回の自分の役割なんじゃないかと考えが変わっていきます。それほどまでに高校生6人の真っすぐな姿勢と頑張りは眩しいものでした。

現地での公演のスケジュールが決まるのがかなり遅かったこともあり、演目や構成などを十分に固めることが出来ないままでの渡米。現地に着いてからもかなりタイトな行程で、演奏だけに集中するということがなかなか出来ない状況ながら、それらを全て乗り越えた6人には脱帽の思いですし、このメンバーだったからこそ成功することが出来た旅だったとも思っています。

丁度ハロウインの時期だったこともあり、ホストファミリーと本場のハロウインを体験出来たことや、僅かな空き時間に本場のブラックバスを釣ったりとオフの思い出もありますが、なによりも、若いながら素晴らしいメンバーと一緒にアメリカで佐原の音を鳴らせたことが、今回の旅で一番の思い出です。

この先、大人になったこのメンバーの誰かが、今回の私と同じ立場になって、更に若い子を引き連れて Wisconsin に行く。そんな夢を繋いでいってくれることを期待しつつ……。



Wisconsin Youth Symphony and Orchestra で初公演



Stoughton High School での公演を終えて



ウィスコンシン州議事堂で公演



帰りのニューアーク・リバティー国際空港で



Oakwood Village で最終公演

## 使節団員の声 千葉県立佐原高等学校 郷土芸能部 部長 小川美風さん



今回のウィスコンシン州派遣は、私たちにとって何物にも代えがたい貴重な経験となりました。部員全員が初めての海外で、派遣が決まった時はみんなとても不安そうでしたが、一緒に同伴して下さった方々がとても頼りになり、何度も話し合いや交流を重ねるうちに「この人たちがいるから大丈夫だ」と、次第に不安から楽しみに変わっていったのを覚えています。

また、何度も話し合ったことの一つとして「海外の人に佐原囃子を楽しんでもらえるにはどうすればいいのか」という課題がありました。私たちの普段の公演をそのまま行うのではなく、私たちなりのやり方で、様々な工夫を凝らして海外での公演を行いました。その結果、どの公演でもお客さんに楽しんでもらうことができ、本当に嬉しかったです。みんなでどう演奏するか話し合っていく中で、佐原囃子の魅力を再確認でき、より一層佐原囃子が好きになりました。



ウィスコンシン州議事堂の前で

公演の他にも様々な場所に連れてってもらい、とても充実した9日間を過ごすことができました。初めての地で、普段とは違う言語が飛び交っている中、積極的に話しかけてみることに、何事も挑戦してみることに、どんな場所でも怖気ずに堂々としていることが大切だと実感しました。この海外派遣は、人として大きく成長できた、とても良い機会になりました!



ウィスコンシン州議事堂で公演

## 宮崎貴美子さんが思ったこと～ 今回ウィスコンシン千葉委員会理事の宮崎貴美子さんに、大変お世話になりました。



文化交流が5年ぶりに復活し、昨年の中野県友好使節団の企画と受け入れに携われたことは、私にとってとても光栄でした。そして、使節団、特に高校生たちが成長していくのを目の当たりにできたことは大きな喜びでした。

最初は疲れもあり控え目だったのが、外向的で自信にあふれ、英語力が日々向上していききました。また、グーグル翻訳を使いインスタグラムで新しい友人と繋がっていました。そして、自分たちの公演内容を紹介し説明する場面では、回を重ねるごとに英語の発音がよくなり、より自然な表現ができるようになっていました。彼らは自分の殻から抜け出し、日々多くのことを吸収できるようになっていきました。

それは、私たちがなぜ文化交流に取り組むのかに対する、素晴らしい回答でした。私は彼らが視野を広げ、世界の新しい文化を受け入れるのを見ることができました。新しい友人たちや新しい経験は私たちを謙虚にさせ、ワクワクさせます。そしてそれらが結びついて、年齢に関係なく私たちの人生を変えていくことを私は望んでいます。

桜の木が深く根を張り、季節ごとに花を咲かせるように、こうした交流がこれからも続き、私たちの使命が果たされますように。

## CWAからのお知らせ

令和7年度の理事会及び総会・交流会については、下記のとおり予定しています。なお、会員の皆様には、総会等の開催内容について郵便によりお知らせします。

【訃報】 ウィスコンシン千葉委員会の Sharon Durtka 委員長におかれましては、長年にわたり千葉県とウィスコンシン州との交流事業の推進にご尽力されたところですが、令和7年2月9日、ご逝去されました。これまでの多大なるご貢献に感謝するとともに謹んでご冥福をお祈りいたします。

令和7年度 理事会  
6月2日(月) ホテルポートプラザちば  
令和7年度 総会・交流会  
6月21日(土) プラザ菜の花  
総会: 11時から  
交流会: 12時から

## 【編集後記】

今回のメインは令和6年度千葉県友好使節団による活動報告です。若い団員たちはウィスコンシン州での様々な交流を通じて貴重な体験をしてきました。この先この体験を活かし、どのような未来を切りひらいて行くか楽しみにしたいと思います。CWAは今後も多くの千葉県民がこのような素晴らしい体験をしていただけるよう努力してまいります。

発行所: 千葉ウィスコンシン協会  
発行人: 森山茂男 編集: 広報部会  
<https://chiba-wisconsin.net/>

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟 14階  
(公財)ちば国際コンベンションビューロー内  
\*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)

